



図3. (a) SAR 干渉解析結果, KiK-net, GEONET によって得られた地殻変動から求めた断層すべり分布. 赤星印は本震の震源(水平位置)を示す. (b)地図上に投影したすべり分布. 黒点は気象庁一元化震源による余震分布. 緑丸印は, 東北大学・岩手大学合同調査グループおよび産業技術総合研究所の現地調査によって発見されている地震断層の位置を示す(ホームページにおいて公開されている図から判読). 青破線は断層モデル推定において設定した断層面(緯度:39.158°, 経度:141.067°, 上端の深さ:0.5km, 走向:209°, 傾斜:30°, 長さ:50km, 幅:20km)である. 背景は国土地理院発行 50m メッシュ DEM による地形陰影図.